

## 審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	第1回甲州市都市再生整備計画事後評価委員会
開催日時	令和5年12月26日 13時30分～16時00分
開催場所	甲州市役所本庁舎2階 第2会議室
議題	(1) 都市再生整備計画事業の制度の概要について (2) 塩山駅周辺地区都市再生整備計画の概要について (3) 現地視察
出席委員	北村 眞一、河住 敏、雨宮 正明
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	—
傍聴人の数	0人
審議概要	<p>報告事項及び議事</p> <p>(1) 都市再生整備計画事業の制度の概要について 都市再生整備計画事業の概要及び事後評価の要旨について事務局より説明した。</p> <p>(2) 塩山駅周辺地区都市再生整備計画の概要について 整備方針概要図を元に、基幹事業及び提案事業の実施内容について、事務局より説明した。</p> <p>(3) 現地視察 当該計画の対象区域である塩山駅南口周辺を中心に、現地における事業の効果等を事務局と共に確認いただいた。</p> <p>議事録は別紙のとおり</p>
事務局に係る事項	建設課 都市計画・まちづくり担当 0553-32-5072 出席者 4名
その他	無し

## 第1回甲州市都市再生整備計画事業事後評価委員会 議事録

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ

4. 委員長の選任

5. 委員長あいさつ

6. 傍聴希望者入室

7. 議 事

事務局：「第1回甲州市都市再生整備計画事業事後評価委員会」資料の説明

事業評価委員会は計2回の開催を予定している。第1回は事業についての説明と現地視察を行い、第2回で評価検討を行っていただく予定でいる。

委員長：全体事業期間と各事業の実施時期を伺いたい。

事務局：全体事業期間は平成30年度から令和4年度の5年間である。

各事業については基幹事業として「塩山駅前広場整備」が平成30年度から令和4年度、「駐車場整備」が令和4年度の実施である。

提案事業として「空家・空き店舗活用支援」及び「まちづくりワークショップ」が平成30年度から令和2年度、「塩つなぎギャラリー整備」及び「空家・空き店舗調査・活用に向けた調査検討」が令和元年度の実施である。

委員長：駅前通りというのは塩山駅から甲州市役所前にかけての県道沿いを示しているのか。

事務局：本計画で示す駅前通りは、都市再生整備計画の様式(1)-⑦-2に示す整備方針概要図の緑破線で囲った範囲となる。

委員長：駅から東側にも商店街があるのか。

事務局：概要図の緑破線とピンク着色エリアが重複する部分が商店街の中心となる。

委員長：用途地域設定したのはいつか。

事務局：昭和62年。

委員長：駅前や塩山バイパスはいつ頃整備されたか。

事務局：塩山バイパスの供用開始は昭和 58 年、塩山駅前での区画整理完了が平成 2 年。

委員長：駅前周辺の商店街が塩山バイパス方面へ移っていたのか、もしくは新規で店舗が入ってきたのか。

事務局：駅北口にあった塩山病院が今の塩山市民病院の場所へ移転した。  
いちやまマート、ひうが等の商業施設についても駅周辺から塩山バイパス方面へ移転した。

委員：観光協会に携わっていた当時、改札前の観光案内所を南口階段下の空き店舗に移転することを提案し、実現していただけたことはありがたい。空き店舗をひとつでも減らせたことは嬉しい。あとはコンビニが駅前にできると人も集まると思う。夜間開いている店があるだけで全然違う。

委員：目標を定量化する指標のうち「駅周辺の公共駐車場の稼働率」について、月極駐車場の契約割合を 30%から 80%に増やすという目標設定であるが、これは何を意味するのか。月極利用者を増やすということは駅周辺に住民を増やすことが目的か、あるいは電車に乗るために市内各所から車で来てもらい月極駐車場に駐車してもらうのか。住民を増やすことは考えてないかと思われるので、おそらく市内から来てもらうことが目標かと考える。とするとそれは、駅前を整備すれば鉄道利用者も増えることを意味しているのか、という部分も疑問に思う。

事務局：都市再生整備計画事業は全国で展開されており、甲州市が手を挙げたのが平成 30 年度となる。この事業は基本的にパークアンドライドという考え方に基づいており、委員のおっしゃるとおり住民を増やすというよりも通勤通学の交通手段として駅周辺へ駐車し、目的地まで電車等を利用して移動することを目的として、目標設定されたものである。

委員：市民ギャラリーについて、先日展示物の観覧に行ったが、駐車場がないため車を道端に止めて急いで観覧してすぐ帰る、という感じだった。ギャラリー内で休憩することはできても、ギャラリーの使い方が生かされていないと思う。

事務局：ギャラリーについては基本的に「歩行者が立ち寄って集える場所」を目指している。事業は完了したが駅前周辺についての活性化はこれからが本段階と認識している。これらの状況を踏まえて客観的に委員の皆様にご意見を伺いたい。

委員：ギャラリー前を歩く人は通勤通学の人が大半である。少しでも駐車スペースがあれば車で来た人も展示物を観覧することができると思う。

委員長：この後現地視察も予定しているため、何かあれば随時ご意見等いただきたい。

8. 傍聴希望者退室

9. 事務連絡

第2回事後評価委員会の日程について、事務局より説明。

10. 現地視察

11. 閉 会

(以上)